



# 未来へつながる ながさきのくだもの

果樹研究部門は次世代が輝く  
「ながさきのくだもの」づくりを支援します



長崎県農林技術開発センター  
果樹・茶研究部門

NAGASAKI AGRICULTURAL and FORESTRY TECHNICAL DEVELOPMENT CENTRE  
FRUIT TREE AND TEA RESERCH SECTION

# 新しい品種の育成

果樹研究部門では、長崎特産のビワとカンキツの新しい品種の育成に取り組んでいます。

## ビワ

これまでにハウス栽培の主力品種である「長崎早生」をはじめとして、最近では平成21年2月に茂木に比べて大果・良食味で露地栽培向けの「なつたより」、平成26年6月には施設栽培向けの早生種「はるたより」が品種登録されました。

### 果樹研究部門が育成したビワの品種と成熟期(露地)



「なつたより」は大果で果肉が柔らかく果汁が多い食味に優れた新品種で、平成21年春から本格的な普及が始まっています。

なつたより

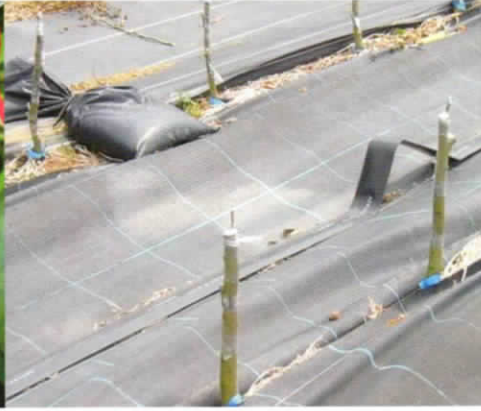
検索

## カンキツ

高品質で出荷時期を分散できる長崎オリジナル品種を育成しています。平成27年9月に「長崎果研させぼ1号」が新品种として登録されました。現在「長崎果研原口1号」が出願公表中です。



交配・実生作出



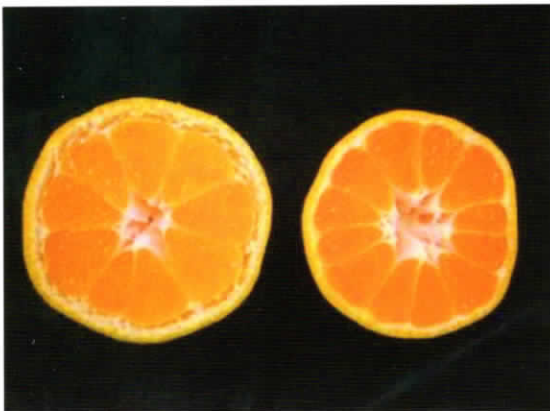
圃場定植



果実特性調査

## おいしい果物づくり

シートマルチ、施設等の新素材、新栽培法による果実品質向上、貯蔵・鮮度保持技術の開発に取り組んでいます。



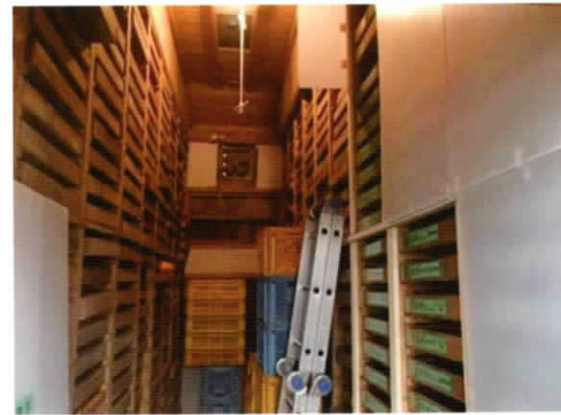
ジベレリン+ジャスモン酸散布による温州ミカンの浮皮防止



県オリジナルの温州みかん新品种「長崎果研させぼ1号」



中晩柑の新品种「津之望」



温州みかんの貯蔵技術開発



## 規模拡大のための省力化技術

果樹の大規模経営を実現するために、省力・低コストで長崎県の地域特性に対応した、新しい栽培技術の開発を行っています。



温州ミカンの低樹高栽培



# 環境への配慮

環境と調和した病害虫管理技術の開発やせん定枝等の有機性資源を有効利用する技術開発を行っています。

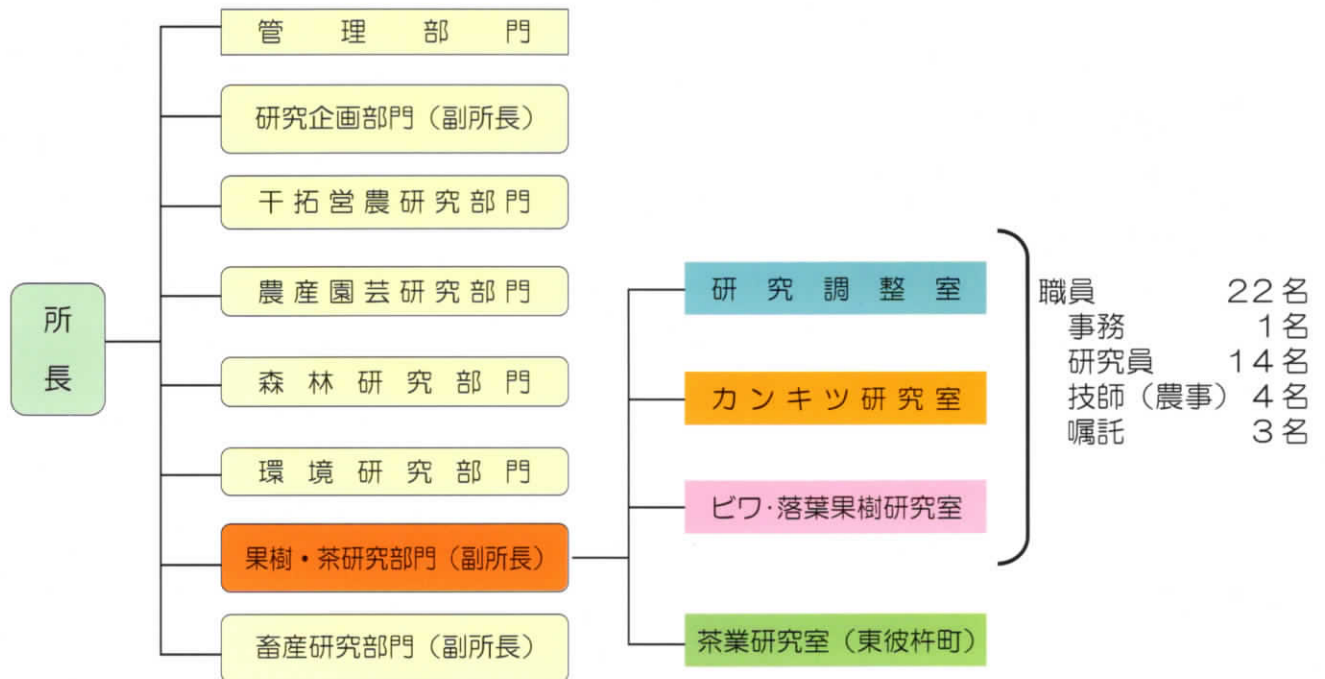


土着天敵利用のための  
インセクタリアープランツ導入

天然物由来の農薬の利用技術

ビワ紋羽病の温水治療

## 組 織



### 研究調整室

○生産現場の課題解決に直結した技術開発のために、関係機関等との連携・調整を行います。

### カンキツ研究室

○温州ミカンなどのカンキツ類について高品質な果実を省力・低コストで安定的に生産する技術や貯蔵・鮮度保持技術の開発を行っています。

○カンキツ類の新品種を開発を行っています。

○病害虫の生態や防除法を明らかにし、環境に配慮した安全・安心な病害虫管理技術の開発を行っています。

### ビワ・落葉果樹研究室

○長崎県の特産であるビワの新品種を開発を行っています。

○ビワについて高品質な果実を省力・低コストで安定的に生産する技術の開発を行っています。

○ブドウ・モモ・ナシなどの落葉果樹の早期出荷、高品質果実の生産安定技術の開発を行っています。

